

新経絡治療の特徴

- 同名相応取穴法、刺絡治療、臓腑相応取穴法を統合した治療。
- 1) 経絡のエネルギー調整を行うエネルギー医学
- 2) 手足の対応穴
- 3) 陰陽の経絡を繋ぐ絡穴
- 4) 陰陽五行の曾祖母、祖母(相克)、母の経絡
- 5) 臓腑通治、表裏、同名、補強関係および本経(井穴)を使用。

治療効果の特徴

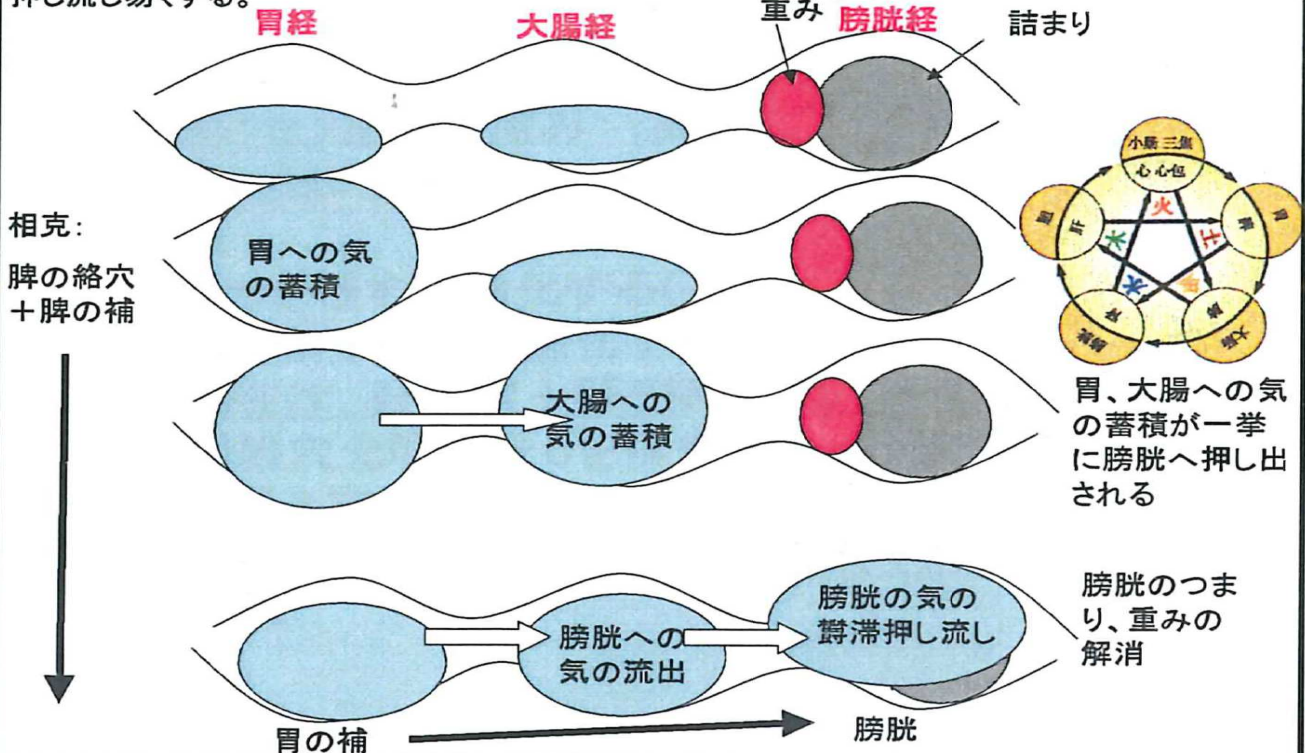
- 補強治療に強く、神経や血管の補強・再生を通して、
① CRPS, PHN、脊椎管狭窄症、などの難治性の疼痛に効果、
- ② 学習障害、うつ病、自律神経失調、パニック障害、認知症、脳卒中後遺症、脳性麻痺など中枢性疾患に効果、
- ③ 耳鳴り・難聴、アトピー性皮膚炎、喘息、リュウマチ、癌、糖尿病、顔面神経麻痺
- などの多く慢性の難病に効果がある優れた治療法であり、今後、統合医療の内容を豊富化に寄与できる。

新経絡治療の治療モデル

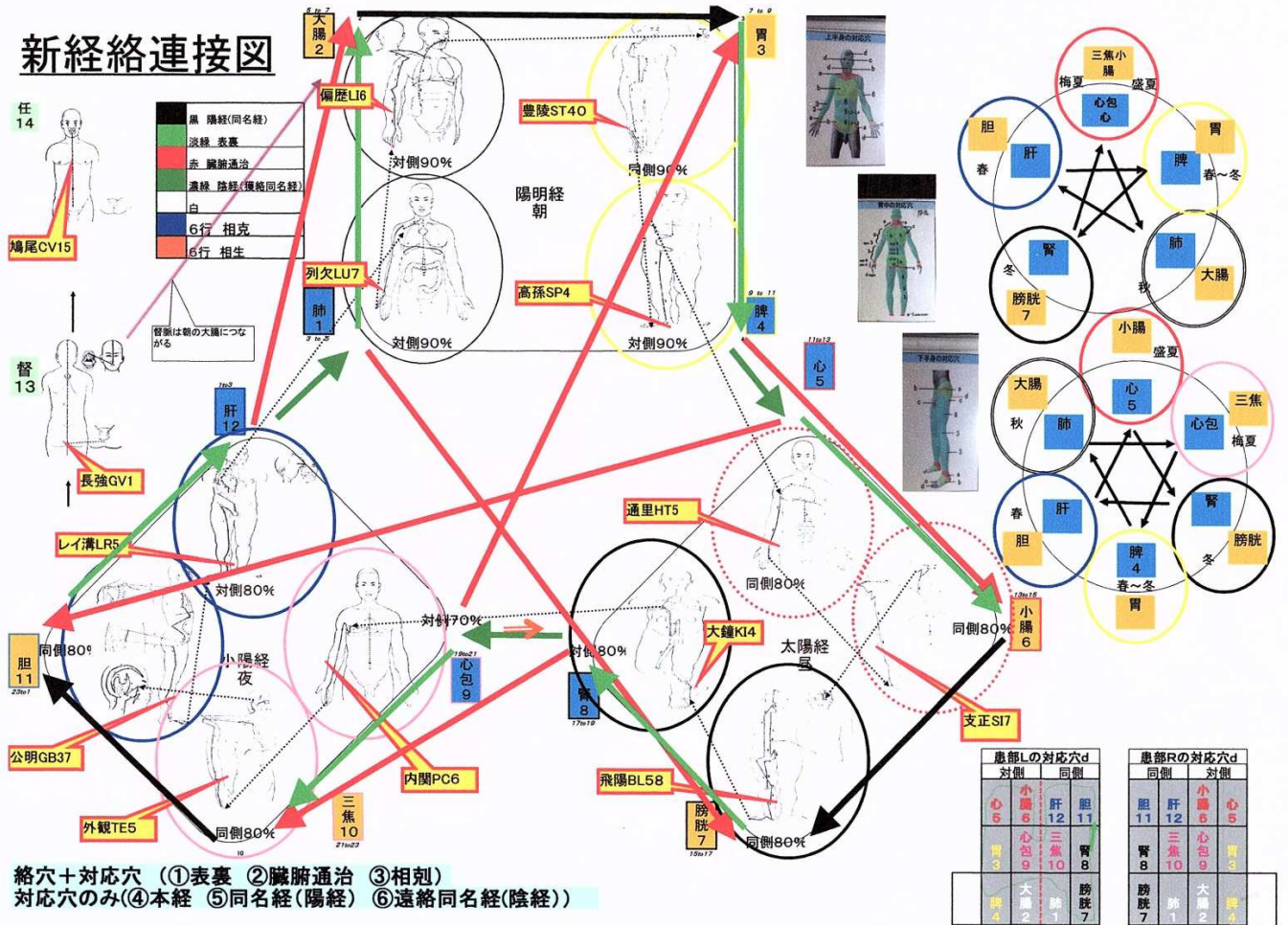


本経の相對虚で交感神経を弛緩させ、押し流し易くする。

相克の仕組み



新経路接続図



絡穴+対応穴 (①表裏 ②臟腑通治 ③相剋)
 対応穴のみ(④本経 ⑤同名経(陽経) ⑥遠絡同名経(陰経))